

今後の進め方(案)について

1. 斐伊川水系生態系ネットワーク形成等に向けた『指標大型水鳥類の生息地の保全・整備』の進め方(案)

平成28年度

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

「鳥類ワーキング」の実施(計3回)
「生息環境づくり部会」の実施(1回)



拠点事業地区の選定、保全・整備の方向性の検討、とりまとめ

西部エリア(堤外地)-4地区

東部エリア(堤外地)-3地区



先行事業の実施、およびモニタリング等

- 神戸川境橋上流左岸、マコモの植栽
- 斐伊川左岸出島地先エリア、湿地の造成に向けた土砂投入の試行実施
- 他



圏域内外の大型水鳥類に関する新たな知見・事例の収集・整理

平成29年度～

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

中長期目標とした取組等を着実に進めていくため、「生息環境づくり部会」に自然再生計画を検討する役割を付与する(規約の変更)。「生息環境づくり部会」、および「鳥類ワーキング」において、指標大型水鳥類の生息環境づくりを継続的に検討



保全・整備の考え方のとりまとめ(H29年度は東部エリア3地区を想定)

- 自然再生計画の検討・策定
- 流域全体で新たな拠点事業地区の選定

整備事業・モニタリングの実施



写真:豊岡河川国道事務所

- 良好な環境の保全・整備を巡る関係者(地方公共団体、農業者、漁業者、河川敷の占有者等)との調整
- 各エリアの樹林帯・中州等主な環境要素の維持管理
- 先行事業の(継続)実施
- モニタリングの実施 他



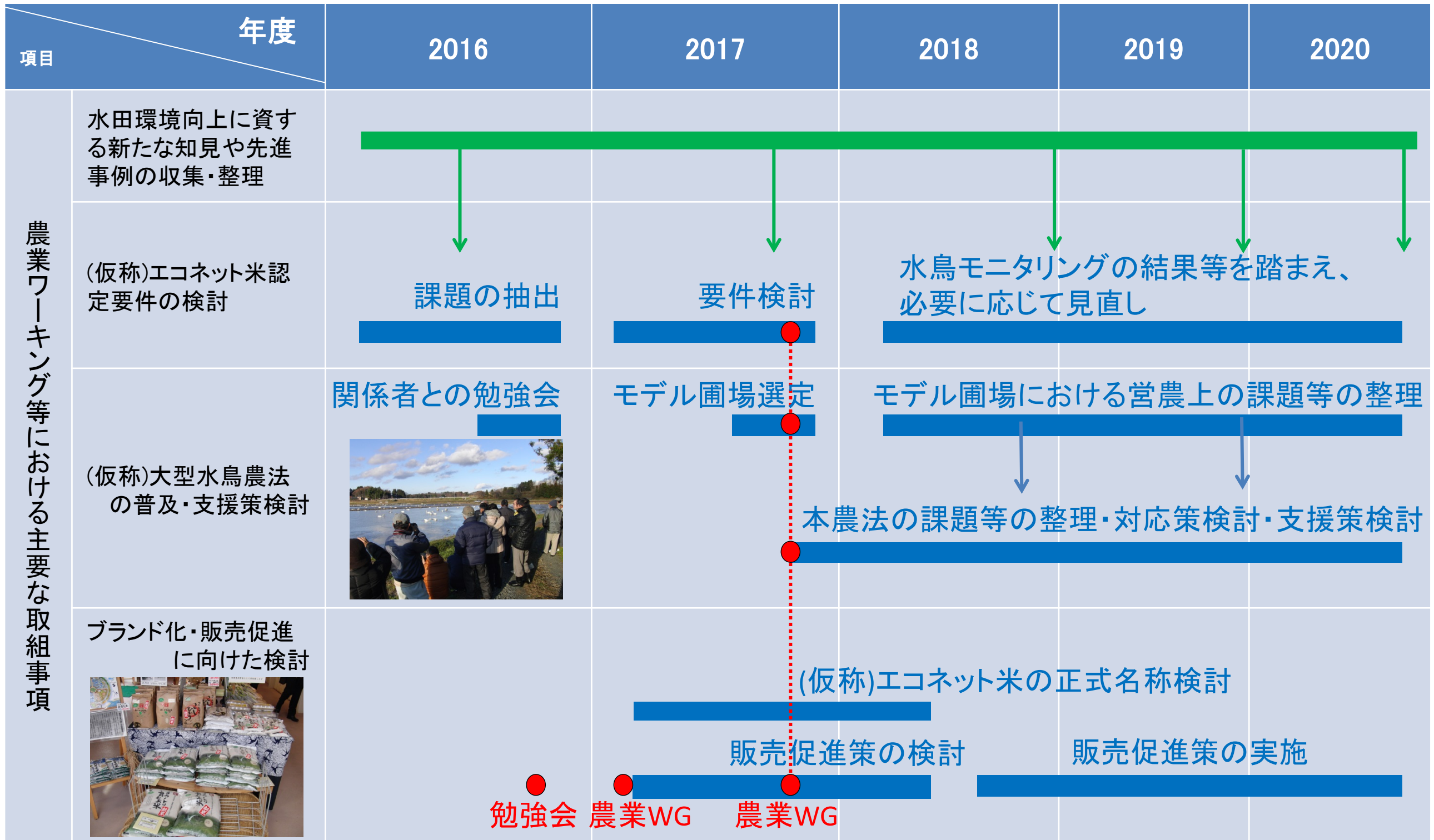
(継続)圏域内外の大型水鳥類に関する新たな知見・事例の収集・整理

※ 写真はいずれもイメージ

2. 指標大型水鳥類を活用した観光振興の進め方(案)

| 項目 \ 年度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|----------------------------------|------------------|--|--|-------------------|------|
| 他地域の先進事例や本地域の観光資源に関する新たな知見の収集・整理 | | | | | |
| 大型水鳥類 ツアー開発の検討 | 着地型旅行商品の検討 | 観光関係者 大型水鳥類の勉強会 | 体験型プランの検討・試行・実践 (エコネット米を使った和菓子づくり、藁細工づくり、大型水鳥のための環境管理 など) | | |
| 大型水鳥類にちなんだ土産物に関する検討 | 製菓メーカー等ヒアリング | 環境保全型米を用いた菓子開発等の検討 | 販促等検討 | | |
| 大型水鳥類・生態系ネットワークの普及広報に関する検討 | キャッチコピーの検討 | SNS試行・連携先の開拓 | ロゴマークの検討 | SNSによる広報・効果検証 | |
| | | その他の土産物に係る大型水鳥類との連携可能性検討 | メーカー等ヒアリング・商品化検討 | | |
| | | キャンペーン検討・実施(不昧公200年祭との連携・記紀編さん1300年記念事業との連携) | 小中学校等と連携した環境教育の検討・実施 | 効果検証・継続or新規検討 | |

3. 指標大型水鳥類を活用した農業振興の進め方(案)



※ 写真はいずれもイメージ

- ・農業者の取組み事項として、モデル圃場における(仮称)エコネット米の生産及び生産地の拡大が必要。
- ・流通・販売業者の取組み事項として、(仮称)エコネット米の販売が必要。